

研究連携会議・産業連携会議について (案)

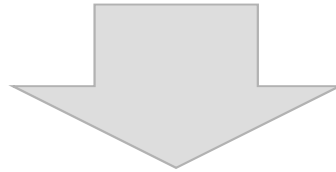
平成28年4月

総務省・文部科学省・経済産業省

研究連携会議の議論

○ 各省で重点的に取り組んでいる研究領域（例）

- 総務省：脳情報通信／音声認識、多言語音声翻訳／社会知解析／革新的ネットワーク
- 文科省：基礎研究／革新的な科学技術成果の創出／次世代の萌芽的な基盤技術の創出／大型計算機資源、人材育成
- 経産省：応用研究、実用化・社会への適用／標準的評価手法等の共通基盤技術の整備／標準化／大規模目的研究



○ こうした観点を踏まえ、研究連携会議を通じて、以下を準備（次回6月に議論）

- ・ 3省連携での研究重点方針とそれを受けた3機関の研究計画（実施内容・役割分担（案））の作成（外部との連携を含む）
- ・ 国内外の研究動向の把握・分析

産業連携会議の議論

- 産業連携会議が発足次第、同会議に対して、産業連携上の課題（例えば、ロードマップ策定、人材育成等）を整理し、その課題解決のための具体的推進方策（タスクフォースの設置等）を検討（次回6月に進捗状況を踏まえて議論）
- その際に、CSTIや、産業構造審議会、情報通信審議会等における議論、IoT推進コンソーシアムの議論等も踏まえ、課題を整理

○ 産業連携会議の具体的活動イメージ（案）

